

取扱説明書

アルファ・パッシブキー® 電気錠システム

ALPHA
PASSIVE KEY PS800

PS800-W-SH



もくじ

電気式錠前取扱上の注意事項 1,2

はじめに

各部の名称	3
製品の概要	4
2 ロックセキュリティ機能	5
携帯器の置き忘れ防止機能	5
携帯器のスリープ機能	6

基本的な使い方

電動で施錠する	7
電動で解錠する	8
手で施錠 / 解錠する	9

その他の使い方

自動施錠機能	10
HA 端子による外部機器連動	11
ケータイホームシステム連動	12
警備連動機能	12,13

携帯器・キーの管理

はじめて携帯器を登録する	14
携帯器を追加登録する	15
携帯器を複数のリーダーに登録する際の注意点	16
携帯器の電池交換方法	17
携帯器を紛失した場合	18
セキュリティカードについて	18

困ったとき

施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合	19
停電や機器故障時の操作	19
電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録	20,21
故障かなと思ったら	22
仕様	23



お客様用
保存版

販売店・工務店の皆様へ
この取扱説明書は施工完了後、
お客様へお渡しください。

■電気式錠前取扱上の注意事項



植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）の装着者が使用する場合は、リーダーから植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。

※リーダーの位置は、3 ページの「各部の名称」をご覧ください。

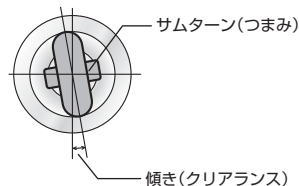
パッシブキー特有のお願い

- 玄関ドア周辺の電波環境（防犯カメラ設置等）により携帯器（電子キー）の作動可能な範囲が狭くなる場合があります。
- 携帯器が完全に静止していると置き忘れ防止機能（P5）により施錠、解錠ができなくなります。少し揺らしながらご使用ください。
- 携帯器を、水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。
- 同一の携帯器が登録された機器が2台以上併設されており（玄関ドアと門扉、2世帯住宅等）、それらが携帯器の作動範囲内に入っている状態で、1 台にリモコン操作をすると、機器は操作と同じ動きを行います。

（ リモコン操作：施錠 → 他の機器：施錠 ）
（ リモコン操作：解錠 → 他の機器：解錠 ）

永くお使い頂くためにご留意頂きたいこと

- 精密な電子部品等を使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。
- 散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使いください。
- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。
- 電池は、指定の電池をご使用ください。また、電池消耗警告があらわれなくても 2 年ごとに全てを新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- 施解錠操作後、サムターン(つまみ)に少し傾きが生じる場合があります。これは確実に電気操作でロックの施解錠を行うためにクリアランスを設けているために生じる現象であり故障ではありません。
- 作動中（サムターンの回転中）及び電子音になっている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。作動完了前（電子音が鳴り終わる前）にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。
- 施錠するとき、キーやサムターンがきちっと最後まで回ったことを確認してください。鎌式デッドボルト（かんぬぎ）が出て錠が掛かります。尚、施錠後はハンドルを操作して錠が掛かったことを確認してください。
- キーの抜き差しや回転操作が悪くなったら、柔らかい芯の鉛筆の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤（粉末タイプ、シリコンを含まないタイプ）を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞったあとキーで抜き差しを数回行ってください。鍵穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着してかえって動きを悪くします。また、シリコンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。



- コピーしたキーを使用した際、キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響を及ぼすことがありますので鍵メーカー純正キーをご使用ください。
- 鍵穴に異物（例えば針金やマッチ棒など）を入れないでください。異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 経年変化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。ドア全体の修理が必要となりますので速やかに建築物の管理責任者、施工業者または建具メーカーに依頼してください。
- 錠のフロントやストライクの表面に保護シートが付いている場合は必ずはがしてください。そのまま放置されますと、保護シートに着いている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、パッシブ操作およびリモコン操作による機器での施錠 / 解錠ができなくなることがあります。

お手入れについて

- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽い内に清掃してください。清掃の目安は少なくとも月に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいのでこまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

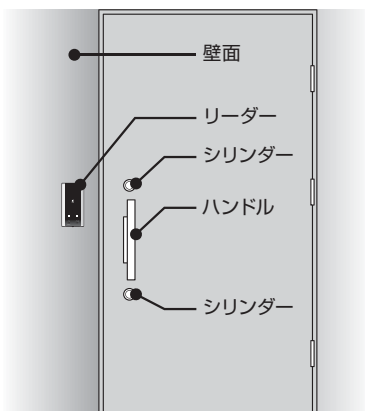
- 製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するために次のことをお守りください。
 1. やわらかい布でやさしく乾拭きしてください。ゴシゴシ強くこすらないでください。
 2. 落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液をやわらかい布またはスポンジにしみ込ませてから良く絞って拭き取り、その後洗剤の成分が残らないように十分に拭き取ってください。
 - ・ 中性洗剤の液や水が製品にかからないようご注意ください。
 - ・ サンドペーパー、堅いブラシまたはシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

盗難悪用防止のために

- 施錠忘れによる盗難等の被害が多ありますので施錠の確認は必ず行ってください。
- キー（あるいは携帯器など）には使用場所がわかる表示は付けないようにしてください。紛失したときに悪用される恐れがあります。
- 日常、キーを利用する必要のない電気式錠前でも機器の故障、停電（電池切れ）などに備えて非常キーは必ず持参してください。また、スペアキーは使用時以外は大切に保管しておいてください。

はじめに

■各部の名称

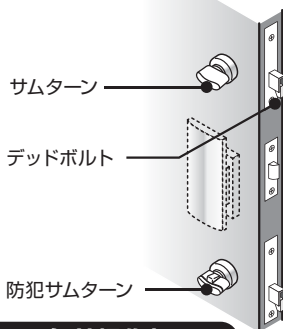


ドア内側

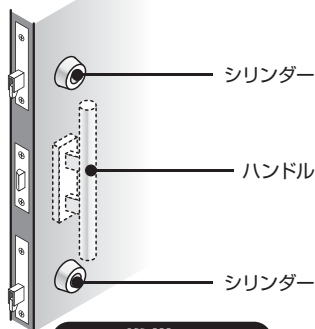
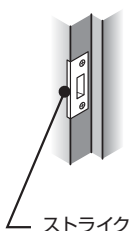
リーダー



ドア外側



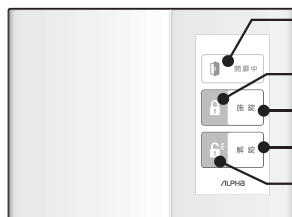
ドア枠



電気錠操作盤

※増設操作盤はオプションです。施錠 / 解錠の操作方法は電気錠操作盤と同じです。

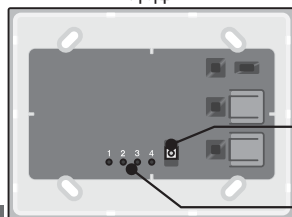
カバー



開扉ランプ (赤)
ドアが開いているときに点灯します

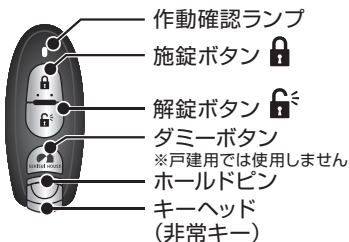
施錠ランプ (緑)
施錠
解錠
解錠ランプ (赤)

本体

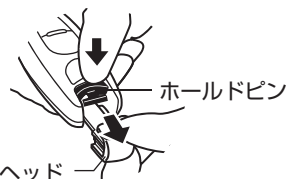


設定スイッチ
設定ランプ (1~4)

携帯器



非常キーのはずし方



キーヘッド
※ホールドピンを押しキーヘッドを引き抜く。

■製品の概要

本機は携帯器を身につけて（ポケットやカバンの中など）リーダーのボタンを押すことで認証し、施錠 / 解錠ができる電気錠システムです。また、携帯器のボタンを押してリモコンとしても使用できます。

室内側からは、操作盤のボタンでドアから離れた場所でも施錠 / 解錠ができます。



ポイント

- パッシブ操作は携帯器が振動を検知しているときに認証します。
- 携帯器が静止していると施錠/解錠できません。少し揺らしてお使いください。

5ページ



最大
8個
まで登録

電子キーを追加でご購入いただくと合計で最大8個まで登録することが可能です。

15ページ

■2 ロックセキュリティ機能

連動施錠

解錠状態時、上側のロックをキー（非常キー）・サムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動し施錠されます。

※施錠状態時、キー（非常キー）・サムターンによる連動解錠はできません。（ピッキング、サムターン回し対策）

片掛かり施錠防止機能（常時 2 ロック施錠を保持します）

施錠状態時、どちらか一方のロックをキー（非常キー）・サムターンで手動解錠し、扉を開けずにそのままの状態にしておくと、25 秒後に自動施錠されます。

※両方のロックを解錠しても扉を開けなければ、最初のロックを解錠してから 25 秒後に自動施錠されます。



- 上記両機能は、ピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。万が一の場合などの補償はございませんのでご了承ください。

■携帯器の置き忘れ防止機能

放置された携帯器がリーダーから約 2m 以内にあり、第三者の解錠ボタン操作による意図しない解錠を防ぐために、「携帯器の置き忘れ防止機能」が働き、施解錠しないときがあります。

携帯器の置き忘れ防止機能

携帯器がリーダーから約 2m 以内にあり、且つ完全に静止していると置き忘れと判断して「置き忘れ防止機能」が働きます。

この時、受信機の「 施錠」または「 解錠」ボタンを押すと電子音が「ピッピッピッ・・・」と鳴り、施錠 / 解錠されません。そのまま放置するとその携帯器は置き忘れ状態になり一時的に使用できなくなります。

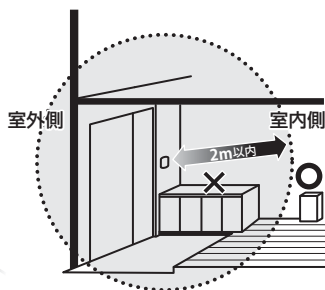


- 電子音「ピッピッピッ・・・」の間に、携帯器を揺らすと施錠 / 解錠されます。

置き忘れ状態からの復帰

1 携帯器のボタンを押す

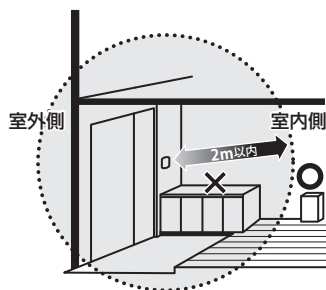
携帯器の「 施錠」または「 解錠」ボタンを押してください。



■ 携帯器のスリープ機能

携帯器をリーダーから約 2m の範囲に 1 分以上放置、または所持（静止状態）すると電池消耗を防ぐために、携帯器のスリープ機能が働き、スリープ状態になります。

スリープ状態の携帯器は、一時的にパッシブ操作ができなくなります。



スリープ状態からの復帰

1 携帯器のボタンを押す

携帯器の「 施錠」または「 解錠」ボタンを押してください。



基本的な使い方

■ 電動で施錠する

操作方法

パッシブ施錠する場合

1 携帯器を持つ

携帯器は、ポケットやカバンに入れたまま、少し揺れている状態にしてください。

2 リーダーの施錠ボタンを押す

マークのボタンを押してください。電子音「ピッ」が鳴ります。

3 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴りリーダーの施錠ランプ(緑色)が一定時間点灯します。



リモコン施錠する場合

1 携帯器の施錠ボタンを押す

マークのボタンを押してください。電子音「ピッ」が鳴ります。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴りリーダーの施錠ランプ(緑色)が一定時間点灯します。



電気錠操作盤で施錠する場合

1 施錠ボタンを押す

開扉ランプが消えている状態で施錠ボタンを押します。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が点灯します。



■ 電動で解錠する

操作方法

パッシブ解錠する場合

1 携帯器を持つ

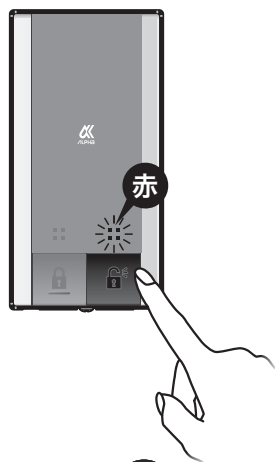
携帯器は、ポケットやカバンに入れたまま、少し揺れている状態にしてください。

2 リーダーの解錠ボタンを押す

🔒マークのボタンを押してください。電子音「ピッ」が鳴ります。

3 2ロックとも解錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピピッ」が鳴りリーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



リモコン解錠する場合

1 携帯器の解錠ボタンを押す

🔒マークのボタンを押してください。電子音「ピッ」が鳴ります。

2 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電子音「ピピッ」が鳴りリーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



電気錠操作盤で解錠する場合

1 解錠ボタンを押す

開扉ランプが消えている状態で解錠ボタンを押します。

2 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が点灯します。



■手動で施錠 / 解錠する

操作方法

サムターンで施錠する場合

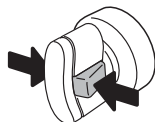
1 上側のサムターンをまわす

上側のサムターンを施錠方向に回します。

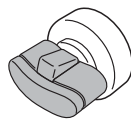
防犯サムターンはボタンをつまみながら

2 下側のサムターンは連動施錠される

連動施錠機能の働きで上側を施錠すると下側の錠を自動施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。



施錠方向に回す



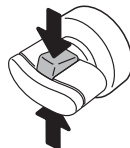
- 下側のサムターンを回しても、上側のサムターンは連動施錠しません。
- 下側のサムターンは防犯サムターンですので、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。

サムターンで解錠する場合

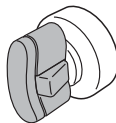
1 2つのサムターンをまわして解錠させる

上下2つのサムターンを解錠方向に回して解錠させます。

防犯サムターンはボタンをつまみながら



解錠方向に回す



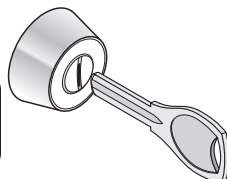
- 防犯サムターンを回す場合は、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。
- 片方のサムターンのみ解錠させたまましばらくすると自動で施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。
- 防犯のためサムターンでの解錠操作の場合は上側のサムターンを回しても、下側のサムターンは連動して動作しません。(ピッキング、サムターン回し対策機能)
- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。

キーで施錠/解錠する場合

外側からキーによる解錠も可能です。この場合、上記サムターンで施錠/解錠する場合と同じ動作仕様となります。



- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。



その他の使い方

■自動施錠機能

帰宅時、解錠後室内に入ってから施錠操作を行う手間を軽減する機能です。リモコンおよびパッシブ解錠後、ドアを開けて閉めると自動施錠します。

初期設定では自動施錠機能は設定されていません。

！
重要

- 自動施錠機能を設定した場合、リモコンおよびパッシブ機能で解錠し、一旦家に入り、キーを家の中に置いたままドアが閉まる前に外に出しまうと、戸外に閉め出されることになります。この設定により、こうした事態が発生することを十分ご理解いただいた上で、ご使用ください。
- 自動施錠機能は、キー、サムターンでの解錠や、電気錠操作盤、増設操作盤による解錠操作では機能しません。

動作

自動施錠の動作

1 リモコン、パッシブ解錠する

リモコン、パッシブ解錠のどちらかで解錠します。

2 ドアを開ける

ドアを開け、室内に入ってください。

3 ドアを閉める

ドアを閉めると、自動で2ロック施錠されます。

設定方法

自動施錠機能の設定 / 解除

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。

3 設定スイッチを設定ランプ2,3がつくまで押す

設定ランプ2,3がつくまで(5回)押してください。

4 ・設定する場合

電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。

・解除する場合

電気錠操作盤の解錠ボタンを押す

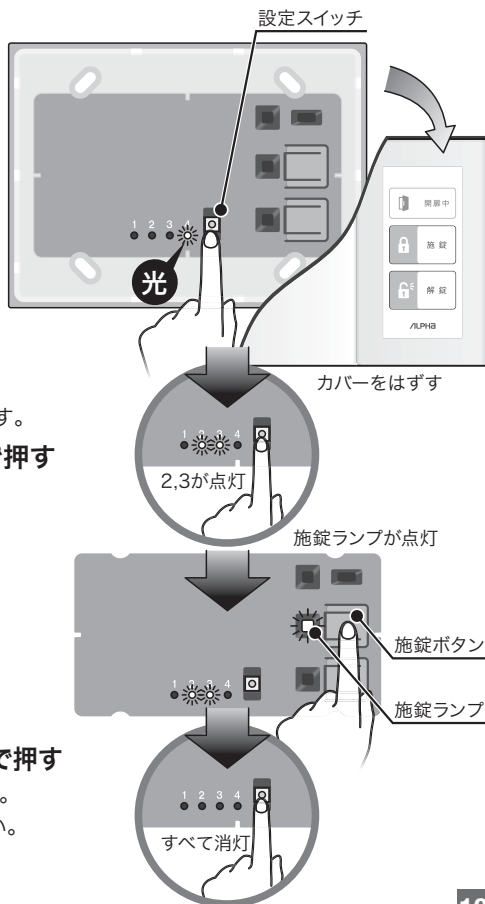
解錠ランプが点灯します。

5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで(10回)押してください。
設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。

6 動作確認をする

携帯器を持ち、正しく動作するか確認してください。



■HA 端子による外部機器連動

インターホンなど HA (JEM-A) 機器から、施錠 / 解錠できます (ドアが閉まっているとき)。機器によって動作しない場合がありますので、ご使用の場合は事前にご確認ください。



- 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

操作方法

HA機器で操作する

1 HA機器のボタンを押す

施錠中であれば解錠し、解錠中であれば施錠します。



- ドアが閉まっていないと施錠しません。

HA 機器解錠制限

HA機器から施錠操作はできるが、解錠操作を不能にする特殊な設定です。必要なときのみ設定してください。

設定方法

HA 機器解錠制限の設定

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。

3 設定スイッチを設定ランプ2がつくまで押す

設定ランプ2がつくまで (3回) 押し続けてください。

4 ・HA機器の解錠制限をする場合

電気錠操作盤の施錠ボタンを押す
施錠ランプが点灯します。

・HA機器の解錠制限を解除する場合

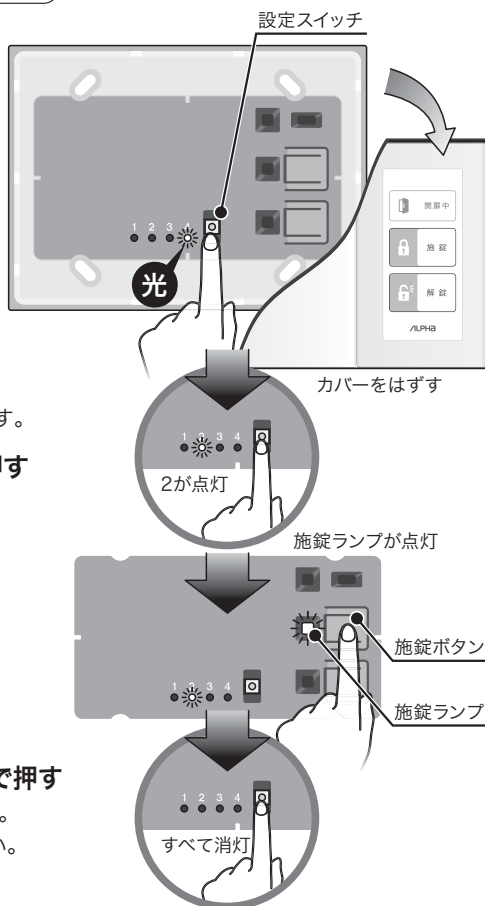
電気錠操作盤の解錠ボタンを押す
解錠ランプが点灯します。

5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで (12回) 押し続けてください。
設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。

6 動作確認をする

携帯器を持ち、正しく動作するか確認してください。



■ ケータイホームシステム[®] 連動 (モデル No. 「CN-82」 のみ設定可能)

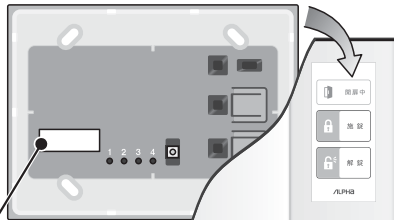
株式会社 NTT ドコモのケータイホームシステムと接続することで、携帯電話から施錠解錠状態を調べたり、遠隔施錠や、帰宅メールを受け取るなどの機能拡張が出来ます。

モデル No. は機器のラベルで確認してください。(右図参照)

！
重要

- 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

ラベル(モデルNo.)



カバーをはずす

設定方法

ケータイホームシステムを設定する

ケータイホームシステムの設定は、株式会社NTTドコモの取扱説明書の「電気錠の設定について」をご参照ください。

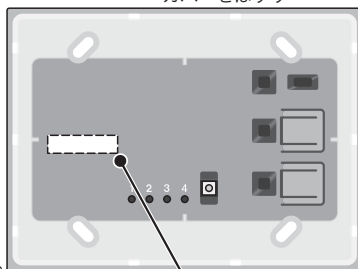
設定には、電気錠のMACアドレスとIPアドレスが必要です。

- MACアドレス: 電気錠操作盤のカバーの下、盤面上シールに記載
- 電気錠操作盤のIPアドレスは固定です。(DHCP非対応)

- 電気錠操作盤が1台のみの場合: 電気錠操作盤の設定はありません。

- 電気錠操作盤が2台以上の場合: あらかじめ電気錠操作盤の設定が必要となります。

※設定方法については取付説明書をご参照ください。



MACアドレス

■ 警備連動機能 (モデル No. 「CN-82」 のみ設定可能)

警備会社の警備システムを導入している場合、下記の操作で設定・操作を行うと、施錠 / 解錠と同時に警備会社の警備システムをセット・解除できます。(警備システムにより、対応しないものもあります。)

！
重要

- 外部機器との配線が必要になります。配線がないと設定しても機能しませんので、ご注意ください。

操作方法

警備をセットする

- 1 ドアを閉める
室外に出て、ドアを閉めてください。
- 2 携帯器を持つ
携帯器は、ポケットやカバンに入れたまま、少し揺れている状態にしてください。
- 3 リーダーの施錠ボタンを 4 が終わるまで押し続ける
マークのボタンを 4 が終わるまで押し続けてください。
- 4 2ロック施錠後、警備がセットされる

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴った後もボタンを押し続けると、「ピーー」と長く鳴り、施錠ランプ(緑)が点滅し、警備がセットされます。

😊
ポイント

- 途中でボタンを離すとセットされません。



施錠ボタンを
押し続ける

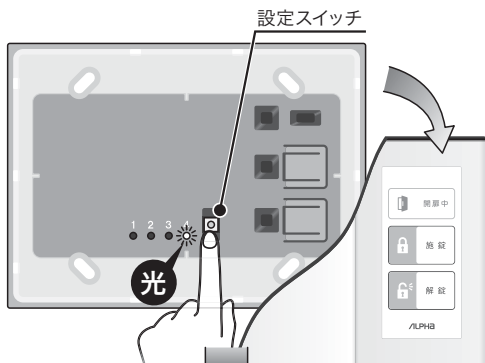
警備を解除する

1 リモコン、およびパッシブ解錠する

リモコン、およびパッシブ解錠をすると、同時に警備も解除され、解錠ランプ(赤)が点滅します。

ポイント

- 設定により、手動解錠でも警備を解除することができます。その際は両方のロックを解錠します。



設定方法

警備システムを設定する

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。

3 設定スイッチを設定ランプ2,4がつくまで押す

設定ランプ2,4がつくまで(4回)押してください。

4 電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。

ポイント

- 解除する際は、**4** の施錠ボタンを解錠ボタンに変えて操作してください。

5 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで(11回)押してください。設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。

6 動作確認をする

携帯器を持ち、正しく動作するか確認してください。

手動解錠での警備解除を設定する

1 「警備システムを設定する」の**2**まで操作する。

設定ランプ4が点灯します。

2 設定スイッチを設定ランプ2,3,4がつくまで押す

設定ランプ2,3,4がつくまで(6回)押してください。

3 電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。

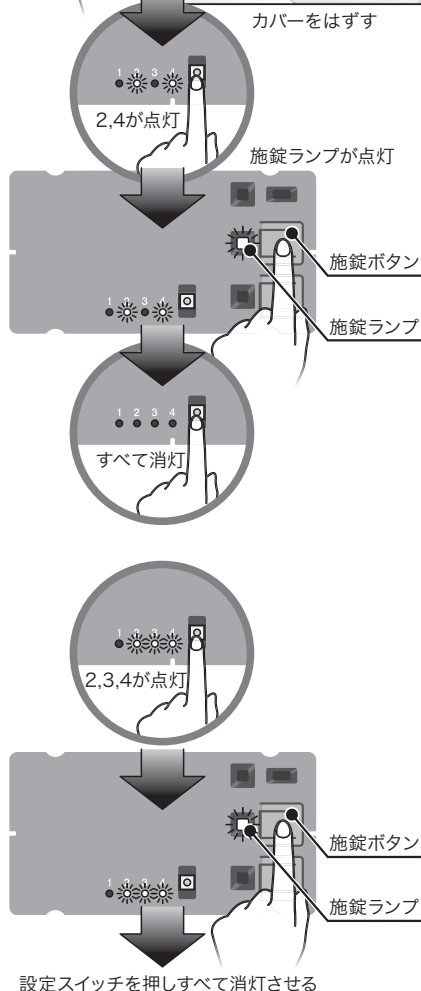
ポイント

- 設定する際は、**3** の施錠ボタンを解錠ボタンに変えて操作してください。

4 設定スイッチを設定ランプ全てが消えるまで押す

設定ランプ全てが消えるまで(9回)押してください。

設定終了です。はずしたカバーを取り付けてください。



■はじめて携帯器を登録する

ひとつも携帯器が登録されていない初期状態から、携帯器を登録するときの登録方法です。登録したい携帯器を全て用意して次の手順で操作してください。

携帯器を登録する

- 1 電気錠操作盤のカバーをはずす**
カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。
- 2 設定スイッチを5秒押す**
5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。
- 3 設定スイッチを設定ランプが全てつくまで押す**
設定ランプ全てがつかまで(14回)押し続けてください。
- 4 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
2秒間押し続けてください。開扉ランプが点灯します。
- 5 ドアを開け、解錠ランプを確認**
室外に出て、リーダーの解錠ランプ(赤色)が点灯していることを確認してください。登録終了まで点灯します。
ドアは開けたままにして操作してください。
- 6 リーダーのボタン両方を8の操作終了まで押し続ける**
リーダーの施錠ボタン、解錠ボタンを両方同時に8の操作が終わるまで押し続けてください。登録終了まで解錠ランプ(赤色)が点灯します。
- 7 登録したい携帯器のボタンを2回押す**
施錠、解錠どちらのボタンでも登録できます。1回目電子音「ビッ」2回目で正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点灯します。



- 電子音「ピー、ピー、ピー」が鳴るときはエラーです。もう一度 **7** の操作をしてください。
- 携帯器は最大8個まで登録が可能です。

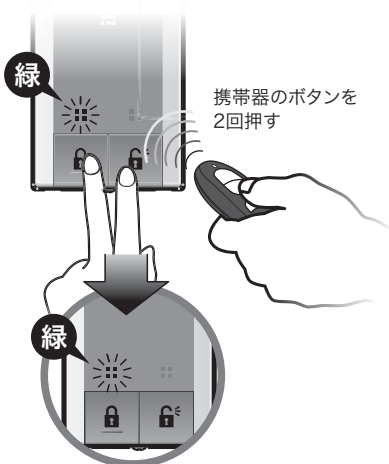
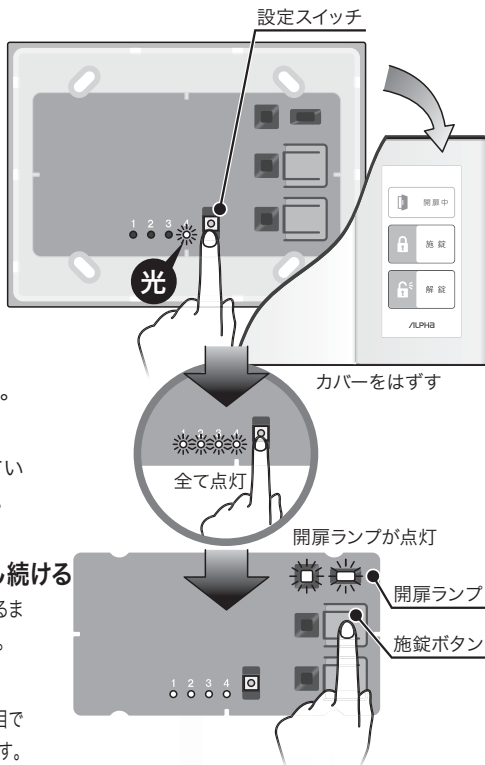
- 8 さらに追加登録する場合は6 7を繰り返す**
- 9 設定スイッチを押し、登録を終了する**



- 登録した携帯器の数を確認できます。
例: 0個→「ピー」、1個→「ピッ」、2個→「ピッピッ」

- 10 登録した携帯器の動作確認をする**

ドアを閉め、登録した全ての携帯器で施錠/解錠操作ができるか確認してください。



登録した携帯器の数だけ点滅

■携帯器を追加登録する

既に登録してある携帯器があり、新たに携帯器を追加する場合、本機に登録する必要があります。
登録してある携帯器を含め、登録したい携帯器を全て用意して次の手順で操作してください。

携帯器を登録する

1 ドアを開けた状態にする

2 リーダーの両方のボタンを 3 の操作終了まで押し続ける

リーダーの施錠ボタン、解錠ボタンを両方同時に押し続けてください。5秒後に解錠ランプ(赤色)が登録終了まで点灯します。

3 ランプ点灯後、登録済み携帯器のボタンを2回押す

施錠、解錠どちらのボタンでも登録できます。1回目電子音「ピッ」2回目で正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点灯します。

ポイント

- この操作をした携帯器が新しく登録され、今まで登録されていた携帯器は全て削除されます。
- 10秒間操作しないと、「ピッ」と鳴り登録を終了します。

4 リーダのボタン両方を 5 の操作終了まで押し続ける

受信機の施錠ボタン、解錠ボタンを両方同時に 5 の操作が終わるまで押し続けてください。

5 登録したい携帯器のボタンを2回押す

施錠、解錠どちらのボタンでも登録できます。1回目電子音「ピッ」2回目で正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点灯します。

6 さらに追加登録する場合は 4 5 を繰り返す

ポイント

- すでに登録されている携帯器を操作すると、電子音「ピー、ピー、ピー」が鳴り、エラーとなります。
- 携帯器は最大8個まで登録が可能です。

7 10秒待ち、登録を終了する

10秒間操作しないと、解錠ランプ(赤色)が消灯し、登録した携帯器の数だけ「ピッ」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点滅します。

ポイント

- 登録した携帯器の数を確認できます。
例:1個→「ピッ」、2個→「ピッピッ」

8 登録した携帯器の動作確認をする

ドアを閉め、登録した全ての携帯器で施錠/解錠操作ができるか確認してください。その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。



ボタンを両方押す



携帯器のボタンを2回押す



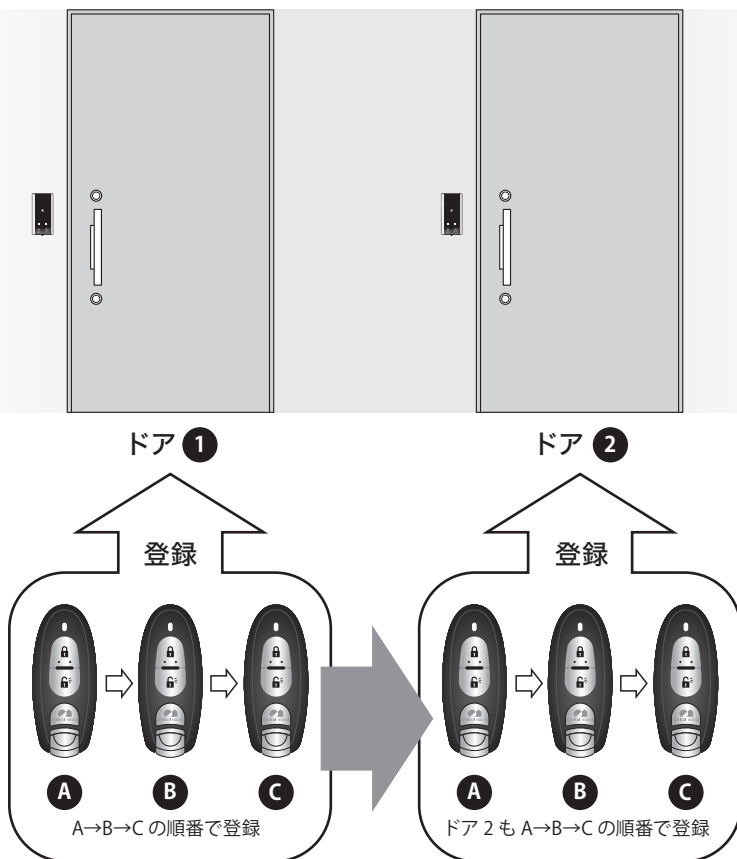
登録した携帯器の数だけ点滅

■携帯器を複数のリーダーに登録する際の注意点

携帯器を複数のリーダー(2世帯住宅のそれぞれのドア等)の両方に登録する際には、必ず同じ順番で登録してください。

！
重要

- 登録順が変わると、先に登録したリーダー(ドア)でのパッシブ操作ができなくなります。
- 新たに携帯器を追加するためや、紛失した携帯器を使用できなくするために携帯器の追加登録を行う際も、複数のリーダーの携帯器の登録順が同じになるように登録してください。



😊
ポイント

- もし、ドア2への登録の順番を変えた場合(B→C→Aなど)、ドア1への登録が無効になりますので、再度、ドア1とドア2を同じ順番で登録しなおしてください。

■携帯器の電池交換方法

電池が消耗してくるとボタンを押したときに作動確認ランプが点滅します。
その場合は、速やかに電池を交換してください。

携帯器用の電池は、コイン型リチウム電池CR2032です。カメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。



交換用電池
CR2032

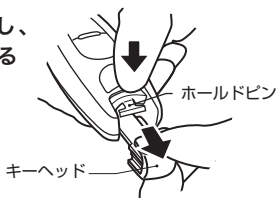


！重要

- ご購入時の電池は、動作確認用の電池です。初めてお使いになる前に電池交換される事をおすすめします。
- 携帯器の電池寿命は約2年程度です。
- 携帯器の電池は電池切れにならなくても2年ごとに新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- 携帯器は常時電波を受信しているので、全く使用しない場合でも電池は消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換時、静電気を体内に帯電させた状態ですと携帯器の部品が故障する恐れがあります。電池交換する際は一度ドアノブなどの金属物に触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
- 電池及び取り外した部品を誤ってお子様や飲み込んだりしないようにしてください。
- 電池交換は、電子部品保護のため濡れた手、汚れた手で行わず、必ず下記の方法にしたがって行ってください。

電池を交換する

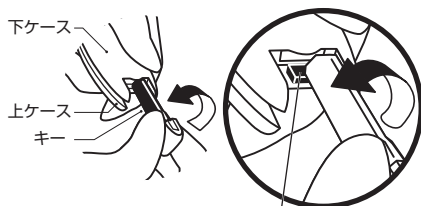
- 1** ホールドピンを押し、キーヘッドを抜き取る



- 2** 上下のケースを固定しているネジを外す
※ネジをゆるめるときは1番のプラスドライバーをご使用ください。



- 3** キー先端を両ケースの間に入れ、キーを回転させる様にしてケースを外す



スプリングの台にキーをのせて回転する。
※キー収納部では回転させない。

- 4** 綿棒やようじ等で電池を押しだし、新しい電池を入れる

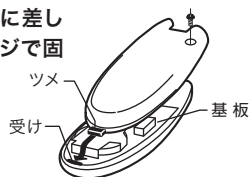


！重要

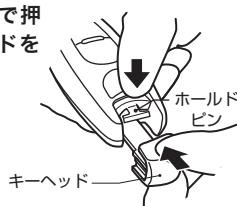
- 基板に触れたり・外したりしないでください。
- 電池を押すとき、電気を通す金属性のものは使用しないでください。
- 電池は、プラス(+)側を上にしてください。

- 5** 基板の付いているケースを下にし、「ツメ」を「受け」に差し込み、ケースをしめ、ネジで固定する

※1番のプラスドライバーをご使用ください。



- 6** ホールドピンを指で押しながらキーヘッドを挿入する



■携帯器を紛失した場合

携帯器を紛失した場合や特定の携帯器を使用できなくする場合は、下記の手順で再登録を行ってください。

！
重要

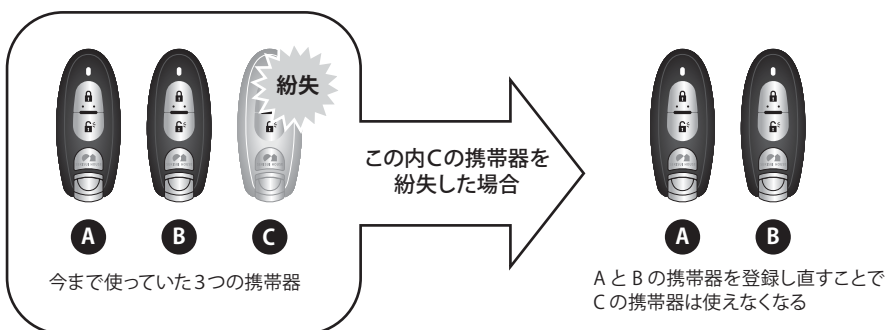
- 携帯器を紛失した場合、その携帯器を第三者が使用する可能性があります。紛失した携帯器を使えなくするためにも、ただちに対処してください。
- 携帯器には所有者の名前、住所がわかるような内容を記入しないでください。
- 特定の携帯器だけを指定して削除することはできません。

1 「携帯器を追加登録する 15ページ」に従って登録しなおす

新たに登録した携帯器に上書きされ、それ以外の携帯器を使用できなくします。

ポイント

- 紛失した（登録しなかった）携帯器が使用できなくなります。



■セキュリティカードについて

セキュリティカードは、オーナーであることを証明する大切なカードです。

追加工キーをご注文の際は、セキュリティカードを提示していただいた場合のみお掛けいたします。

！
重要

- セキュリティカードを破損、紛失、盗難された場合カードの再発行は安全上の理由で行いません。
- セキュリティカードは安全な場所に保管してください。



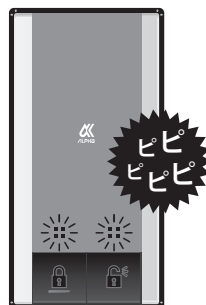
困ったとき

■施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合

施錠あるいは解錠できなかった場合

作動途中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と鳴り、その後、赤色/緑色ランプが5秒間点滅し、異常を知らせます。

デッドボルトがストライクへ確実に収まっているか確認し、デッドボルトがストライクにぶつかったり、こすれている場合には建付調整を行ってください。また、異常が発生し、上側または下側の錠の片側のみ施錠されている場合でも「施錠」表示（緑ランプ点灯）となります。再度、施錠解錠操作を行い、2ロックとも施錠させてください。



その他の異常の場合

その他の異常に関しては、「故障かなと思ったら」[22ページ](#)に書かれている状態と照らし合わせて確認してください。

■停電や機器故障時の操作

停電等で電気錠を操作できなくなった場合、室外側はキーで、室内側はサムターンで施錠/解錠してください。
(電気錠動作中の停電等による動作停止以外は上記操作で施錠/解錠できます。)

※ 非常キーは、携帯器に収納されています。詳しくは3ページの「非常キーのはずし方」をご覧ください。



！
重要

- 停電や機器故障に備えて外出時は必ずキーを所持してください。

電気錠動作中に停電等により電源が切れた場合

1 キーまたは、サムターンで施錠操作側へまわせるところまでまわす

2 キーまたは、サムターンで解錠操作側へまわす

解錠できます。

！
重要

- 停電のタイミングにより、1ロックのみの施錠/解錠になることがあります。
- 停電等から復旧し、電動で操作すると、ロックが復帰し、通常の操作が可能になります。

■電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録

停電等により電源が切れた場合でも、復旧後は通常の操作が可能です。万が一電気錠・リーダーの設定がクリアされてカード・操作盤での操作ができない場合は再登録してください。

設定方法

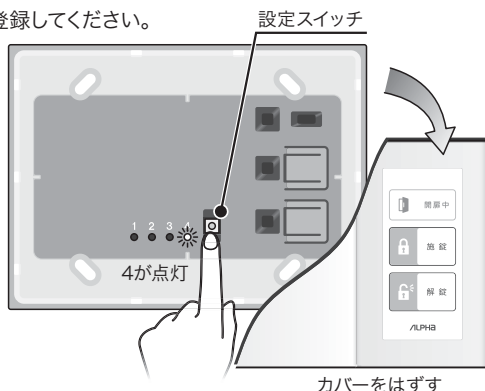
設定モードにする

1 電気錠操作盤のカバーをはずす

カバーの裏のすき間に指をいれてはずします。

2 設定スイッチを5秒押す

5秒間押し続けてください。設定ランプ4が点灯します。



カバーをはずす

電気錠を登録する

1 ドアを閉め、解錠状態にする

ロックは上下とも、解錠してください。

2 設定モードにする

上記の操作で設定モードにします。

3 設定スイッチを設定ランプ1,3,4がつくまで押す

設定ランプ1,3,4がつくまで(10回)押してください。

4 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す

開扉ランプが点灯します。



5 上のサムターンを施錠し、解錠する

解錠状態のサムターンを施錠→解錠してください。

6 5の操作を下のサムターンも行う

7 ドアを開ける

8 設定スイッチを押す

施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。



●登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。再度、最初から登録してください。

9 登録終了

全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。

10 動作確認をする

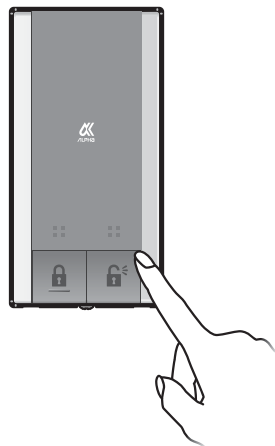
電気錠操作盤で、正しく動作するか確認してください。

リーダーを登録する

- 1 設定モードにする**
前述の「設定モードにする」の操作で設定モードにします。
 - 2 設定スイッチを設定ランプ1,2,4がつくまで押す**
設定ランプ1,2,4がつくまで(12回)押してください。
 - 3 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
開扉ランプが点灯します。
 - 4 リーダーの施錠または解錠ボタンを押す**
施錠ランプ(緑)が点灯し、電子音「ピー」が鳴ります。
 - 5 設定スイッチを押す**
施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。
- ポイント

 - 登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。配線を確認し、再度、最初から登録してください。

- 6 登録終了**
全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。



増設操作盤を登録する

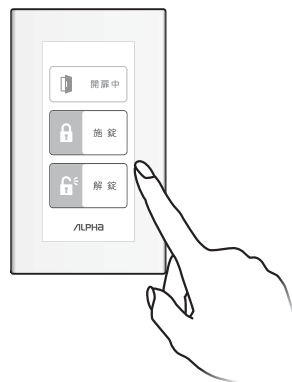
- 1 設定モードにする**
前述の「設定モードにする」の操作で設定モードにします。
 - 2 設定スイッチを設定ランプ1,2,3がつくまで押す**
設定ランプ1,2,3がつくまで(13回)押してください。
 - 3 電気錠操作盤の施錠ボタンを2秒押す**
開扉ランプが点灯します。
 - 4 増設操作盤の施錠または解錠ボタンを押す**
施錠ランプ(緑)解錠ランプ(赤)が両方点灯します。
- ポイント

 - 複数ある場合は、他の増設操作盤もボタンを押し登録します。一度に登録しないと、正常に動作しません。
- 5 設定スイッチを押す**
施錠ランプ(緑)が1秒点灯します。
- ポイント

 - 登録失敗の場合解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。配線を確認し、再度、最初から登録してください。

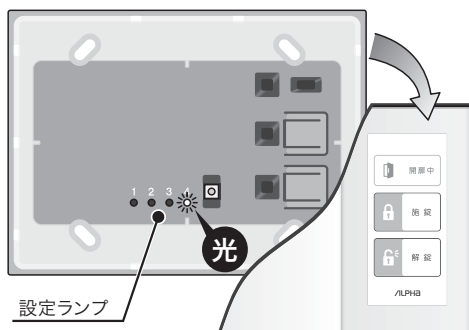
- 6 登録終了**
全ての設定ランプが消灯し、登録終了です。

- 7 動作確認をする**
すべての増設操作盤で、正しく動作するか確認してください。



各種モード一覧表

設定ランプ				モード名称
1	2	3	4	
●	●	●	●	自動施錠機能の設定モード
●	●	●	●	HA機器解錠制限の設定モード
●	●	●	●	警備システムの設定モード
●	●	●	●	手動解錠での警備解除の設定モード
●	●	●	●	新規携帯器の登録モード
●	●	●	●	電気錠の登録モード
●	●	●	●	リーダーの登録モード
●	●	●	●	増設操作盤の登録モード



■故障かなと思ったら

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。

現象	考えられる原因	対処方法
全く作動しない リーダーの施錠ランプ(赤・緑)が点灯しない	停電などで製品に電源が供給されていない	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。
リーダーまたは携帯器のどの「 施錠」「 解錠」ボタンを押しても作動しない	携帯器が作動範囲内でない	携帯器を確認してください。
	携帯器の電池が切れている	新しいリチウム電池(CR2032)を交換してください。 17ページ
	携帯器が登録されていない	携帯器を登録してください。 15ページ
リーダーの「 施錠」「 解錠」ボタンを押しても作動しない	携帯器の置き忘れ防止機能およびスリープ機能が働き一時的に使用できなくなっている	携帯器の「 施錠」「 解錠」ボタンを作動範囲以内(1.5m)で押してください。その後、リーダーの「 施錠」「 解錠」ボタンを押して作動を確認してください。 5ページ 6ページ
リーダーの「 施錠」「 解錠」または、携帯器の「 施錠」ボタンを押しても作動しない	ドアが開いている	ドアを閉めてください。
キーやサムターンで施錠/解錠できない	電気錠動作中に停電等により電源が切れた	停電や機器故障時の操作を行ってください。 19ページ
リーダーまたは、携帯器の「 施錠」ボタンを押しても施錠しない(モーターの作動音がし、数秒後に「ピピピピ」という電子音が鳴り受信機の施錠ランプ(赤・緑)が点灯する	ドアが完全に閉まりきらない状態で操作したため、デッドボルトが途中で止まった	ドアがしっかり閉まっていることを確認してください。 その後、再度パッシブ又はリモコン操作で動作の確認をしてください。 ※サムターンでも施錠できない場合は、ストライク、ドアクローザの調整が必要です。 19ページ
携帯器の作動距離が極端に短くなり、ボタンを押すと作動確認ランプが点滅する	携帯器の電池が消耗している	新しいリチウム電池(CR2032)に交換してください。 17ページ
携帯器を所持しているのにリーダーの「 施錠」「 解錠」ボタンで施錠/解錠ができず、「 ピピピピピピ…」と置き忘れ防止機能が働く	所持している携帯器に振動が伝わらず、静止(置き忘れ)と判断している	携帯器に振動を与えてください。
	所持している携帯器以外に別の携帯器が近くに置き忘れられている	別の携帯器が作動範囲内にないか確認してください。又は、「 ピピピピ…」と(10秒間)警告音が終了するまで待ち、別の携帯器を無効にさせた後、施錠操作を行ってください。 5ページ

仕様

PS800 仕様		
動作電圧	AC100V ±10%（電気錠操作盤供給電源）、50/60Hz	
消費電力	最大 25W	
登録可能携帯器数	最大 8 個	
パッシブ交信範囲	約 20cm～80cm	※ 設置環境により交信性能は変動します。
リモコン交信範囲	室外側約 1.5m	※ 設置環境により交信性能は変動します。

リーダー仕様		
送信周波数 (LF)	125.0kHz	
送信変調方式 (LF)	ASK	
送信強度 (LF)	微弱（国内電波法）	
受信中心周波数 (UHF)	315.0MHz	

携帯器仕様		
使用電池	CR2032 コイン型リチウム電池 (DC3V)	
動作電流	最大 15mA	
送信周波数 (UHF)	315.0MHz	
送信変調方式 (UHF)	FSK	
送信強度 (UHF)	微弱（国内電波法）	
受信中心周波数 (LF)	125.0kHz	
電池寿命	約 2 年（「施錠 / 解錠」を 1 サイクルとして 1 日 10 サイクル使用）	
ID 違い数	40 億以上（理論値）	

使用環境		
周辺温度	電気錠：-10℃～+55℃（凍結無きこと）	
	リーダー：-10℃～+55℃（凍結無きこと）	
	電気錠操作盤・増設操作盤：0℃～+50℃（凍結無きこと）	
	携帯器：0℃～+40℃（凍結無きこと）	
周辺湿度	90%RH 以下（結露無きこと）	

[illegible]

[illegible]

This image shows a full page of handwriting practice paper. It features a solid top border followed by numerous horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for letter height and placement. The background is white, and the lines are light gray.

※ ケータイホームシステムは株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。

株式会社 **アルファ**



☐ 住設機器事業部

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-6-8

サービス窓口

045 (787) 7422

ホームページ <http://www.kk-alpha.com>

* 当社はISO9001・ISO14001を認定取得しています。

AL11114

1036-HMA-01